

広報委員会(第25期・第6回)

議事要旨

日時:令和4年4月20日(水)12:00~13:00

会場:大会議室(オンライン併用)

出席者:

菱田委員長、松下副委員長、狩野幹事、所幹事、磯委員、大倉委員、多久和委員、伊藤委員、辻委員、三成委員

議題:

- (1)今後の広報戦略について
- (2)カーボンニュートラル特設ページの更新について
- (3)「学術の動向」について
- (4)その他

議事:

(1)今後の広報戦略について

○菱田委員長より、第184回総会における外部有識者報告書の広報部分の指摘について説明がされた。

○学術会議ホームページの改修に当たり、ホームページの目次や過去資料の取扱いについて、松下副委員長を中心に、第一部は三成委員、第二部は多久和委員、第三部は菱田委員長を中心に、松下副委員長がまとめる形で検討し、一か月程度で方針案を作成することとなった。

○学術フォーラムの動画配信については、国内外情報発信強化分科会委員長の狩野委員を中心に、動画配信のルール化等について検討することとなった。

○狩野委員より、森広報アドバイザーからの学術会議の広報に係る意見の紹介があった。

・ホームページについて

学術会議のホームページは文字が多いので、デザイン性を高めて情報が見やすい方がよい。

・動画の日英化について

動画の英語字幕については、編集ソフトによる自動化の仕組みもあるので、比較的容易にできるのではないかと。ただし、自動化する場合でも専門用語については個別にチェックする仕組みを作る必要がある。

・説明資料のフォーマットについて

総会で使用された会長や副会長の説明用スライドについては、記者側の意見としてはフォーマットを統一化した方が一体感のある発表になるのではないかとのこと。

・動画の配信について

学術会議のロゴマークや題名が出る形の方が学術会議として統一感が出るのではないかと。学術フォーラムの動画を短く編集する場合予め仕組み作りが必要。

・Twitterの発信について

ホームページの内容をそのまま発信するのではなく、ホームページとは別の方法でリーチしてくれる方を増やす発想でSNSを使う必要がある。

(主な意見)

- ・学術会議ホームページのデザインについては、素人の発想だと全部の情報を入れたいになるので、プロとしての意見をアドバイザーからいただいた方がよい。
- ・学術フォーラム等の動画配信に関しては、そのまま掲載しても問題ないのではないか。必要に応じて視聴者側が倍速で視聴することもできる。字幕も今は簡単につけられる。仮に違っていても大抵ある程度は推測できるので、まずはあまり労力をかけずに情報提供するという姿勢が良いと思う。
- ・講演資料の著作権確認は事務局では難しいので、主催者や講演者には予め資料の公開を前提として講演資料を作成いただくよう注意喚起する必要がある。著作権確認のためのチェックリストがあるとよい。

(2)カーボンニュートラル特設ページの更新について

菱田委員長より、学術会議におけるカーボンニュートラルの取り組みを紹介する特設ページの紹介や今後の更新予定について説明があった。

(3)「学術の動向」について

「学術の動向」の見直しについて、菱田委員長及び「学術の動向」編集分科会委員長である所委員より日本学術協力財団による検討状況が説明され、広報委員会として見直しの方向性について了承した。